

# 広く。

海上保安大学校

Japan Coast Guard Academy  
GUIDE BOOK

# 深く

強い絆で結ばれた  
仲間と共に  
海の安全を守る  
一員になる



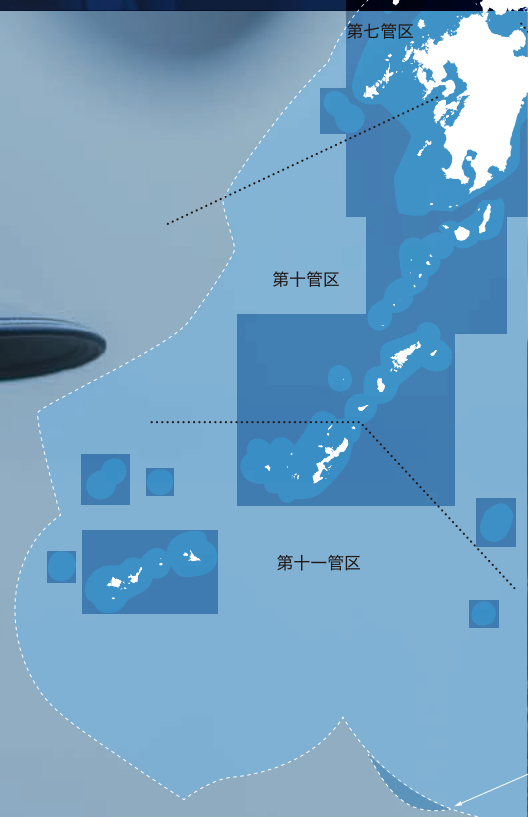
# 広く。 深く。

強い絆で結ばれた  
仲間と共に  
海の安全を守る  
一員になる

広大な海に四面を囲まれた海洋国家 —— 日本。  
海上保安庁は行政機関のひとつとして、  
海上や沿岸における犯罪の取り締まりに加え、領海警備、海難救助、  
環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全を責務とする。  
その役割は幅広く、幹部職員ともなれば様々な分野で  
リーダーシップを発揮しなければならない。  
それは、広く、深く、知識や統率力が求められるということ。  
ここでの厳しい訓練の数々はリーダーに必要な力を養い、  
いつの日か、指揮官として日本の海を守るために必要なものになる。

## 教育方針

1. 人格の陶冶とリーダーシップの涵養
2. 高い教養と見識の修得
3. 強靱な気力・体力の育成





## 広大な海上エリアを守る。

海上保安庁は国土交通省に属しており、働く拠点の多くは、海から近い場所にありますが、船の上で働く人は海上保安官の約半数となります。残りの半数は陸や空で働いています。このほか、特殊救難隊、国際捜査官、鑑識官、潜水士、機動防除隊、情報処理官、海洋調査官など各分野のスペシャリストとしてのキャリアパスも個人の能力や適性に応じて開かれています。

海上保安庁の主な任務は、海上の安全および治安の確保を図ることにあります。日本の領土は約38万km<sup>2</sup>で、世界61位の面積です。しかし、主権が及ぶ領域に漁業や天然資源開発を自由に行える排他的経済水域 (EEZ) を合わせると約447万km<sup>2</sup>にもなり、領土の約12倍で世界でも10位以内の面積を誇ります。海上保安庁はこの広大なエリアを11の管区に分け24時間365日守り続けています。

- 領土 …………… 約38万km<sup>2</sup>
- 排他的経済水域 …………… 約405万km<sup>2</sup>
- 領海 …………… 約43万km<sup>2</sup>
- 領海 + 排他的経済水域 …………… 約447万km<sup>2</sup>



※「排他的経済水域及び大陸棚に関する法律」第2条第2号が規定する海域の海底およびその下

# 日本の領海を守る 指揮官になる。



本校は、海上保安庁の幹部職員に必要な知識や技能を教授し、心身の錬成を図るとともに、海洋政策に関する調査研修をすることを目的とした、教育機関です。

卒業した後は、巡視船の幹部職員として配属された後、能力や適性にに応じて、本庁・管区本部や航空基地での課長職、巡視船艇の船長など、海上勤務と陸上勤務を交互に繰り返しながら、様々なキャリアを積み幹部職員となります。



## 主な施設

- ①本館
- ②第一実験棟
- ③第二実験棟 A棟・B棟
- ④学生寮(三ツ石寮・麗女寮)
- ⑤特別訓練棟
- ⑥国際交流センター
- ⑦国際講義棟
- ⑧煉瓦ホール
- ⑨講堂兼体育館
- ⑩図書館
- ⑪潜水訓練用プール
- ⑫総合実習棟
- ⑬海上保安シミュレーションセンター
- ⑭研修センター
- ⑮第二研修センター
- ⑯海上保安資料館

## ◎本科

**受験資格** 高校卒業後2年未満まで

**教育期間** 4年9カ月

本科4年間、専攻科6カ月間、研修科(国際業務課程)3カ月間の計4年9カ月の教育を受けます。本科卒業と同時に、学士(海上保安)の学位が取得できます。

### 海上保安庁の幹部職員を育成

2学年の後半から、航海、機関、情報通信に分かれます。本科を卒業した学生は専攻科に進み、世界を一周する遠洋航海実習を行い、国際感覚を養います。その後、3カ月間の研修科(国際業務課程)において、語学を中心とした国際業務対応能力や実践的な海上保安業務に関する知識を習得します。

**専攻科(6カ月間)**

本科を卒業後、練習船「こじま」で世界一周の遠洋航海実習を行い、海外寄港での関係機関の見学や市民との国際交流により見聞を広め、国際感覚を養います。

**研修科 国際業務課程(3カ月間)**

専攻科終了後、実用英語能力、国際関係知識などの国際業務対応能力、初級幹部として必要な実務能力を習得します。

### 現場赴任までの流れ



## Curriculum

本科(4年間)				専攻科 + 国際業務 課程
1学年	2学年	3学年	4学年	
<b>◎ 基礎教育科目</b> 幅広い教養を身に付ける 共通科目/哲学、文学、法学、英語、数学、物理学、化学、経済学、保健体育、統計情報処理 等 共通科目/ロシア語、中国語、韓国語のいずれか				
<b>◎ 専門基礎科目</b> 専門教育を受けるために必要な基礎能力を身に付ける 共通科目 気象学、海洋学、リーダーシップ論、国際法、刑法、民法 等				
<b>◎ 群別科目</b> 第一群(航海)・第二群(機関)、第三群(情報通信)のいずれかに分かれる 第一群/航海学、海事法、船舶工学 等 第二群/材料力学、電気機械工学、機械力学 等 第三群/情報理論、通信システム、電子回路 等				
<b>◎ 専門基礎科目</b> 複雑かつ国際化する海上保安業務に対応するために必要で専門的な能力を身に付ける 共通科目 海上保安制度論、海上犯罪捜査、捜索救助、海上交通政策学、国際海洋法、海上警察権論、海難救助工学、海上保安演習、特別研究 等				
<b>◎ 訓練・実習科目</b> 職務に直結した特殊技能を身に付ける 逮捕術、けん銃、武器、端艇・信号、小型船舶、総合指揮 等				
<b>◎ 乗船実習</b> 習得した船舶運航知識、技能を実際の船上で実践し、業務遂行能力を身に付ける				
国内航海	国内航海	国内航海	遠洋航海	





**施設概要** 校内敷地面積 約125,000㎡

多種多彩な施設で海上保安業務に必要な技術を身に付ける



## ◎初任科

**受験資格** 大学卒業後30歳未満まで

**教育期間** 2年間

初任科で1年間の教育を受けたのちに、特修科に編入され、さらに1年間、計2年間の教育を受けます。

### 一般大学卒業者を対象に幹部職員を育成

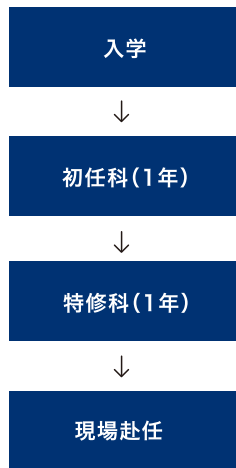
入学時に航海・機関という2つの分野に分かれて学びます。1年目は初任科として主に海技免状の取得に向けた科目を履修し、2年目からは特修科(海上保安学校卒業生の中から、現場経験を積んだ幹部職員を養成する課程)に編入し、引き続き海事系の専門的な知識を習得しながら、幹部海上保安官として必要な高度な専門能力を身につけていきます。

### 特修科(1年間)

初任科修了後、特修科(現場経験を経て選抜試験に合格した者の課程)に編入し、初級幹部として必要となる学術や技能を身につけます。



現場赴任までの流れ



## Curriculum

初任科(1年間)

### ◎基礎教育科目

**共通科目** / 海上保安業務概論、法学論  
**航海** / 航海学基礎、航海計器学基礎 等  
**機関** / 蒸気機関学基礎、内燃機関学基礎 等

### ◎訓練・実習科目

逮捕術、けん銃、武器、端艇・信号、小型船舶、総合指揮 等

### ◎乗船実習

習得した船舶運航知識、技能を実際の船上で実践し、業務遂行能力を身に付ける

国内航海

特修科(1年間)

### ◎講義科目

**共通科目** / 刑事訴訟法、海上交通法規 等  
**専攻科目** / 航海学、情報理論、財政学 等

国内航海

## 少人数で研究を深めるゼミ活動や特別研究も行っています。

海上保安大学校では、通常の授業や訓練以外にゼミ活動が行われています。授業を受ける中で興味をもった分野やもっと学びを深めたいと思った科目について担当の教官と一緒に濃い研究を行います。現在は刑法ゼミや行政法ゼミ、国際法ゼミなどの法律系のゼミや、国際政治ゼミなどさまざまなゼミ活動が行われています。また4学年次には各自で興味のあることについて“特別研究”を行っており、4年間学んできたことの総仕上げとして11月に発表会も開催されます。



# 海上での活動を 実践的に体験する

海を舞台として活動する海上保安官には、機動力の源となる巡視船艇を自在に操る技術、そして海上で発生する現象に精通するプロとしての能力が求められます。

海上勤務時に乗船する巡視船艇の運航業務を果たせるよう、

航海・機関・情報通信の専攻に応じた配置で現場に則した乗船実習を実施しています。



## 練習船「こじま」

平成5年(1993年)に就航

- 総トン数/2,950トン ● 全長/115m
- 幅/14m ● 速力/約18ノット以上

## 国内航海実習 **本科、初任科対象**

練習船「こじま」などに実習生として乗船し、日本全国の沿岸や近海の国内航海を経験します。各種訓練を通じて、船舶運航に関する航海・機関・情報通信の各専門分野の知識・技能を身につけるとともに、海上保安業務に関する知識を習得します。

### 実習場所

本科	1学年	九州、四国および近海
	3学年	瀬戸内海、本州、北海道、四国、九州、南西諸島沿岸や近海
	4学年	瀬戸内海、本州南東岸、四国、九州沿岸や近海

初任科	1年目、2年目いずれも	瀬戸内海、本州沿岸や近海
-----	-------------	--------------



### 2023年遠洋航海実習での航海日数

※2023年度の寄港地です。寄港地は年によって変わります。

- 航海日数 ..... 101日
- 総航程 ..... 約25,000海里



「かっこいい」保安官に  
オールマイティーで

子どもの頃から海に関わる職業に就くのが夢で、海上保安官として働いていた祖父の勧めもあって、海上保安大学校を志望しました。自立心が強かったので、公務員として給与を頂きながら学べる点も魅力でした。

外国船舶との無線通信、同乗した米国沿岸警備隊士官学校の学生とのやり取りなど、遠洋航海実習中は英語でのコミュニケーションが必要で、英語に不慣れな私は苦戦しました。

同期と寄港地のあらゆる名所を巡り、有名な観光スポットやローカルフードを楽しんだことは、楽しい思い出です。

目指すのは、幅広い分野で活躍できるオールマイティーな海上保安官。国際業務課程研修が終われば、初級幹部として現場に赴任し部下を率いる立場となります。部下からも一般の方々や家族からも「かっこいい」と思ってもらえるように自分を磨き、社会に貢献したいと思います。



本科第69期生 第一群(航海)

**服部 あい**

Hattori Ai

出身校/三重県立津高等学校



## 遠洋航海実習

専攻科(本科卒業生)対象

太平洋、パナマ運河、カリブ海、大西洋、地中海、スエズ運河、インド洋など、世界一周の遠洋航海を経験します。約3カ月の遠洋航海で船舶運航に関する技術の習得、精神力、実践力および統率力を身につけます。寄港地の文化や生活に直接触れることによって見聞が広まり、現地の海上保安機関や市民との国際交流を通じて国際感覚も養います。

### 実習場所

対象 専攻科(本科卒業生)  
期間 …… 約3カ月

寄港地 サンフランシスコ、ポルチモア、ピレウス、シンガポール など

### 多くの命を救いたい 人命救助の最前線で

私は高校生の時から、過酷な海難現場や陸上における災害現場での救助活動など、多様な現場で活躍する特殊救難隊に憧れを抱いていました。私も救難現場の最前線で多くの命を救いたいと思い、海上保安大学校に入学しました。

遠洋航海実習で大変だったのは、訓練の企画・進行です。訓練を一から企画した経験がなく、不測の事態にも柔軟に対応し、訓練を円滑に進めるのに試行錯誤しました。

一方で、海上や各国の美しい景色や、他国の沿岸警備隊との交流は、素晴らしい思い出として心に残っています。

将来は特殊救難隊の隊員になり、人命救助の最前線で一人でも多くの命を救いたいです。海上保安庁は外国の沿岸警備隊ともつながりがあるため、救難の技術を教え合い、日本のみならず世界各国の救難現場にも、良い影響を与えられる海上保安官になるのが目標です。



本科第69期生 第三群(情報通信)

廣澤 拓磨

Hirosawa Takuma

出身校/東京都立紅葉川高等学校

# 集団生活の中で、 協調性を養う。



4年間の寮生活を通して、集団行動での規律を学び仲間との絆を深め合います。

海上保安大学校に入学すると海上保安庁職員(国家公務員)となり、毎月の給与及び手当が支給されます。

授業や寄付金等は一切不用で、制服や寝具は貸与されます。

日々規律正しい生活を送る中には、座学や実習といった授業以外にも、

部活動や寮生活を通じたたくさんの学びがあります。

全国各地から集まった同期とのつながりは、一生の宝物になります。



起床



朝食



旗章掲揚



起床/整理・体操・掃除 <b>6:30</b>	朝食 <b>7:10</b>	旗章掲揚 <b>8:00</b>	課業整理 <b>8:20</b>	授業/訓練 <b>8:45</b>
----------------------------	-------------------	---------------------	---------------------	----------------------



昼食  
**12:00**



昼食

授業 / 訓練 → 終了後体育部活動  
**13:00**



夕食



授業 / 訓練 / 体育部活動



夕食・入浴・外出許可  
**17:15**

自習時間  
**19:00**

帰校門限  
**22:15**

消灯  
**22:30**



消灯巡検



入浴



自習時間



## Check!

**17:15以降は、帰校門限までの外出が可能!!**

月・火・水・木・日 …… 17:15~22:15(5時間)の外出が可能  
金・土・祝日の前日 …… 帰校門限22:45までで、外泊も可能





## ● 年間主要行事

授業や訓練、寮生活、部活動、年間の行事を通じて、強い信頼関係が築かれます。

4月	●入学式／●練習船「こじま」出港式／●登山(オリエンテーション)
5月	●寮内点検
6月	●学生祭(海神祭)／●オープンキャンパス／●被服点検
7月	●遠泳訓練
8月	●帆走巡航／●オープンキャンパス／●練習船「こじま」帰港式
9月	
10月	●園児招待／●耐寒訓練
11月	●特別研究発表会／●総合指揮訓練
12月	●寮内点検
1月	●耐寒訓練
2月	●総合指揮訓練
3月	●卒業式



## ● 待遇・福利厚生

### ■ 勤務時間・休暇

- 週休2日制となっています。
- 巡視船艇勤務の場合は不定休となっています。陸上勤務の場合は勤務先にもよりますが、基本的に土日・祝日が休日となります。緊急対応等のための休日出勤もありますが、代休又は手当が支給されます。
- 休暇制度として、年次休暇・特別休暇(結婚、出産、育児参加、子の看護、忌引、夏季休暇、ボランティア休暇など)・病気休暇(負傷、疾病による場合)、介護休暇等があります。
- 職務内容によっては、テレワークなど柔軟な働き方が可能です。

### ■ 福利厚生

#### 〈 社会保障 〉

国土交通省共済組合員として保険が適用されます。

#### 〈 宿舍の貸与 〉

全国各地に国家公務員宿舎が設置されており、必要な職員には貸与されます。

#### 〈 両立支援制度 〉

育児や介護者を抱える職員が利用できる両立支援制度(育児休業やフレックスタイム等)が充実しています。

### ■ 給与

- 例1) 本科卒、大型巡視船主任、25歳独身の場合 ⇒ 月給約25万円
  - 例2) 本科卒、陸上勤務(保安部課長級)、40歳、既婚、子供2人の場合 ⇒ 月給約49万円
- その他、特殊勤務手当や期末・勤勉手当(ボーナス)が支給されます。

## ● 体育部活動

全学生が参加し自主的に運営。大会や遠征、他大学などとの交流も盛んです。



海上保安大学校では、「強靱な気力・体力の錬成」を目的とし、学生は体育部活動いずれかに所属することとなっています。カッター部、逮捕術部の様な海上保安大学校特有の部活から、野球部やバスケットボール部など一般的な部活まで12の部があります。

端艇部/逮捕術部/剣道部/水泳部/柔道部/テニス部/サッカー部/バスケットボール部/野球部/ヨット部/ラグビー部/バレーボール部/ライフセービングクラブ

## ● 課外活動

文化・ゼミ・同好会活動も活発に行われています。



救難同好会/学生音楽隊/琴同好会/三弦同好会/茶道同好会/邦楽同好会/応援団

## ● 学生寮

一日の活力は、充実した学生寮から始まります。

男子学生用の「三ツ石寮」と女子学生用の「麗女(うるめ)寮」があり、一部女子学生や研修生は「国際交流センター」の宿泊施設を使用します。寮内には自習室や寝室、食堂、売店、診療所のほか、各階には談話室が設けられています。



# 4 在学生の私生活を深掘り!



Interview  
**01**

本科72期生 航海科  
**佐藤 茜音**  
Sato Akane

## 地元球団からカープのファンに転向 選手のプレーが多忙な日々の息抜きに

野球に興味を持つようになったのは、子どもの頃にチアダンスを始めてからスタジアムに行くことが多くなったことから。両親がよく観戦に連れて行ってくれたので、自然と好きになりました。

もともとは地元の球団であるドラゴンズを応援していましたが、東京オリンピックで森下暢仁選手の活躍を見たのをきっかけに、カープファンになりました。本校に入学が決まり、せっかく広島に住むのならしっかり応援しようと、ファンクラブに入会しています。

野球はシーズン中、ほぼ毎日試合があるので楽しみです。日課や部活動の関係上、平日にスタジアムで観戦するのは難しく、週末の休日を利用したとしても、多くて年に5・6回程度なのですが、時間があればオンデマンドで中継を見ている。選手の迫力あふれるプレーや予測できない試合展開は、自習時間の息抜きにもぴったり。帰省のタイミングで日程が合えば、地元の球場に見に行くこともあります。ライブでの観戦は、熱戦を肌で感じられるのが魅力ですね。

忙しくてなかなか実現しないのですが、ぜひ春のキャンプに足を運んでみたいので、来年あたりにはと計画しているところです。

## Watching Baseball



仲のいい友人と一緒に、大好きな選手のユニフォームを継いで応援するのが、私にとって明日への活力になっています。



ほとんどが「人」をテーマにした写真ばかり。撮ったものをさらにレタッチして、より自分色に加工するのにこだわっています。

## Camera

### 写真は記録であり、記憶でもある 自分が見た情景を作品として形に

小学生の時、祖父の葬儀で流れたスライドショーを見て、写真に興味を持つように。人は亡くなくても、写真としてその人が生きて証のようなものを記録できますし、記録することで、より鮮明な記憶として残ります。写真は記録でもあり、記憶でもあるのだと子どもながらに思いました。それ以来、撮ることは私にとって特別なことではなく、日常を記録する行為であり、日常そのものとなっています。

自分のペースで撮れるので、風景の撮影が好きなのですが、友人に勧められてポートレート（人物写真）も撮るようになりました。しっかり絵作りやセッティングをして撮るのも楽しいのですが、流れに任せて自然な表情を撮る方が好きですね。撮影の瞬間に自分が見ていた景色を表現するために、レタッチにはこだわっています。

昨年まで愛用していたCanon EOS kiss Mの不具合で、念願のSONY α7IVを購入。海技士の勉強が忙しくてまだ新しいカメラで撮影できていないので、使うのが待ち遠しいです。

いつか「自分らしい写真」の方向性を見つけて統一感のあるギャラリーをつくりたいですね。コンテスト入賞も目標です。



Interview  
**02**

初任科3期生 航海科  
**三浦 寿起**  
Miura Toshiki

## 日常の姿とは違った、在学生の意外な一面が見えてくる

海上保安大学の先輩たちは、どうやってリフレッシュしているのか？

休みの日はどのように過ごしているのか？

気になるプライベートでの過ごし方について、

4人の在学生に聞きました。

Interview  
**03**

本科71期生 航海科  
**宮本 さくら**  
Miyamoto Sakura



### その土地ならではの楽しみを見つけ 各国・各地の文化を肌で感じたい

家族旅行でいろいろなお場所を訪れていたことから旅の楽しさを知り、友人がいる県外の町へ遊びに行くなど、旅行が趣味になりました。今は週末や連休、長期休暇を利用して各地をめぐる予定です。

特に好きな行き先は、国内では沖縄と北海道です。沖縄では離島でダイビング、北海道では自然散策やスキーなどを楽めます。海外ではベトナムが印象に残っています。活気があり食事がおいしく、おおらかで優しい国民性で、とても楽しい思い出ができました。民族衣装のアオザイが日常で使われているのもすてきです。

旅先では地元のスーパーストアに足を運びます。その土地ならではの海産物や農産物、お惣菜などが並び、地域の味を知ることができますし、食事をスーパーで買うと食費の節約にもなり一石二鳥です。荷物に余裕があれば一眼レフカメラを持参して、写真に記録。移動費や宿泊費は抑えて、その分滞在日数を増やし現地でのアクティビティを充実させるなど、予算配分を工夫しています。

もっと海外各地を旅して、伝統衣装や各国の郷土料理など、現地の民族の暮らしに触れ、文化の違いを肌で感じてみたいと思います。

Trip



とにかく、新しいモノ見たさの性格なので、毎年、長期休暇を取得して国内外の観光地に行くのが楽しみです。



自分でしか出せない音色で、人の心を動かすことができたらと、いつも思いながら、日々、練習しています。

Flute



### 船上では頼れる海上保安官 陸上では人の心をつかめる音楽隊員

幼少期からピアノを習っていたのですが、管楽器に興味を持つようになりました。フルートとの出会いは、地域の音楽隊での体験。その時は音を鳴らすことができなかったのですが、それ以来、フルートとの付き合いが続いています。実は、フルートといえば「お嬢さまの楽器」というイメージが強く、私はもっとカッコイイ楽器を吹きたいと希望していました。陸上部で活動していたので、音楽教室に通うのも面倒な時期もありました。しかし、時間が空くと、ふと吹きたくなってしまふ。結局今も、美しく優しくやわらかい音に魅了されていて、もっと上手になりたいと、練習に励んでいます。

人前で演奏すると、音楽の力で人を楽しませることの素晴らしさを実感できます。吹いている時は常に「今、人の心を動かせるような音色を奏でられているか」と、聴覚に全集中。理想の音色が出せると、心と音楽が一体となって全身に響くような感覚に至ります。

海上保安庁には音楽隊という選択肢もあります。勉強や体力だけでなく、音楽を通じて人との調和に貢献できることもあると思うので、文武両道で人の心をつかめる音楽隊員として精進していきます。



Interview  
**04**

本科73期生  
**采田 聖弥**  
Uneda Seiya



**海上保安大学校**

〒737-8512 広島県呉市若葉町5番1号  
TEL.0823-21-4961 FAX.0823-21-8105  
<https://www.jcga.ac.jp>